

NIRA総研 中核層調査

2016年10月25日

NIRA総合研究開発機構
中核層・信頼社会のアンケート調査に関する
研究プロジェクトチーム

ポイント

- 中核層とは，自らの生き方を主体的に選択し，かつ積極的に社会を支えようとする自負と責任感を持った人々。
- 社会・経済的属性での必要条件はなく，誰でも中核層になりうる。
- 様々な指標から，自立志向が強く，それでいて他者との関わり合い・社会参画にも積極的な中核層の特徴が見て取れる。
- 政治的には無党派・棄権は少ないが，イデオロギーの偏りはない。
- イノベーター，ネットワーカー，コミュニティ・ノードという3つの中核層イメージ。ネットワーカーの増加が課題。

調査概要

インターネット調査

(NIRA総研から日経リサーチへの委託により実施)

- 調査対象：国内在住の18～69歳の一般男女個人
- 調査手法：年齢・性別によるクォータ・サンプリング
- 実施時期：2016年6月30日～7月6日
- 有効回答数：2762

中核層の定義

中核層の定義

上下の階層や所属する組織を問わず、**自らの生き方を主体的に選択**した上で、社会のあり方を考えようとする人、さらに進んで**積極的に社会を支えようとする自負と責任感をもった人**

(出典) 谷口・宇野・牛尾「続・中核層の時代に向けて」『Voice』2014年11月号

中核層の要件

1. 自らの生き方を主体的に選択

→ 「人生で難しい問題に直面しても、自分なりに積極的に解決」

2. 積極的に社会を支えようとする自負と責任感

→ 「社会をよりよくするため、私は社会における問題に関与したい」

両方に「（よく）あてはまる」と答えた人が中核層

中核層の規模

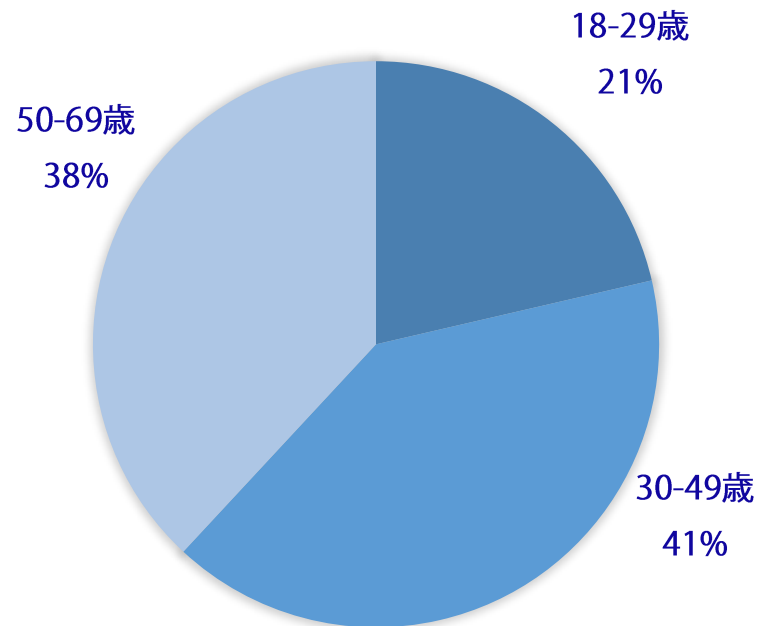
	社会をよりよくするため、社会における問題に関与したい			
人生で難しい問題に直面しても、自分なりに積極的に解決していく		(まったく)あてはまらない	どちらともいえない	(よく)あてはまる
	(まったく)あてはまらない	6%	3%	1%
	どちらともいえない	11%	20%	4%
	(よく)あてはまる	14%	23%	19% (最中核層*は1%)

*最中核層は両方とも「よくあてはまる」と回答した人

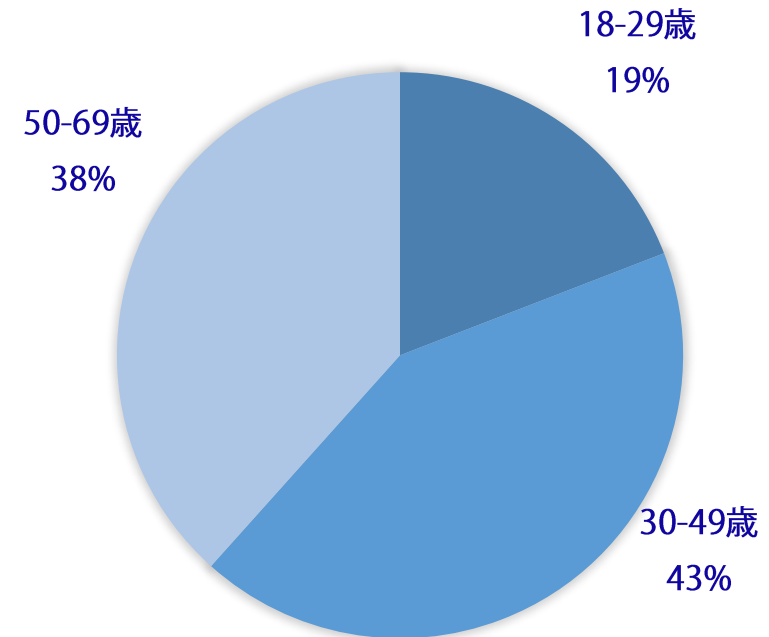
中核層のプロフィール

年齢差はない

中核層



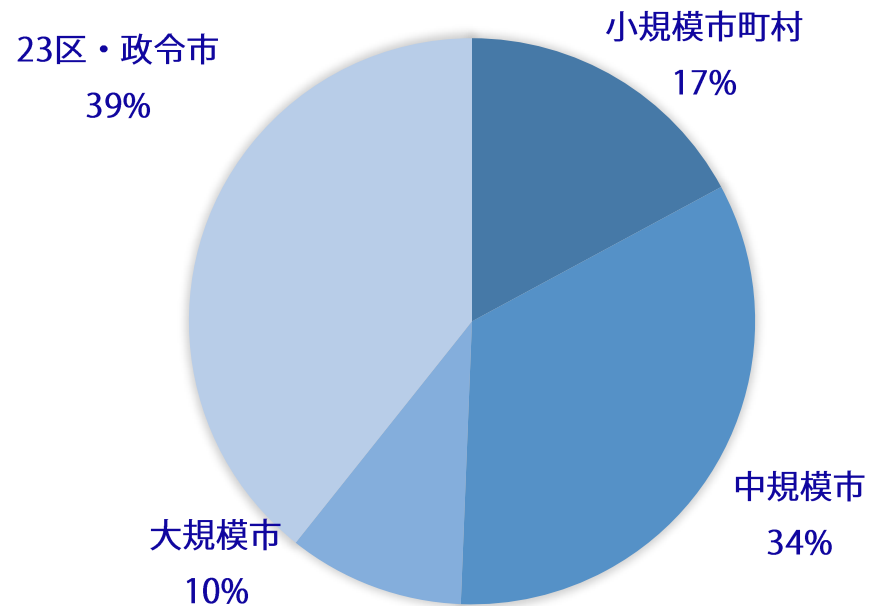
非中核層



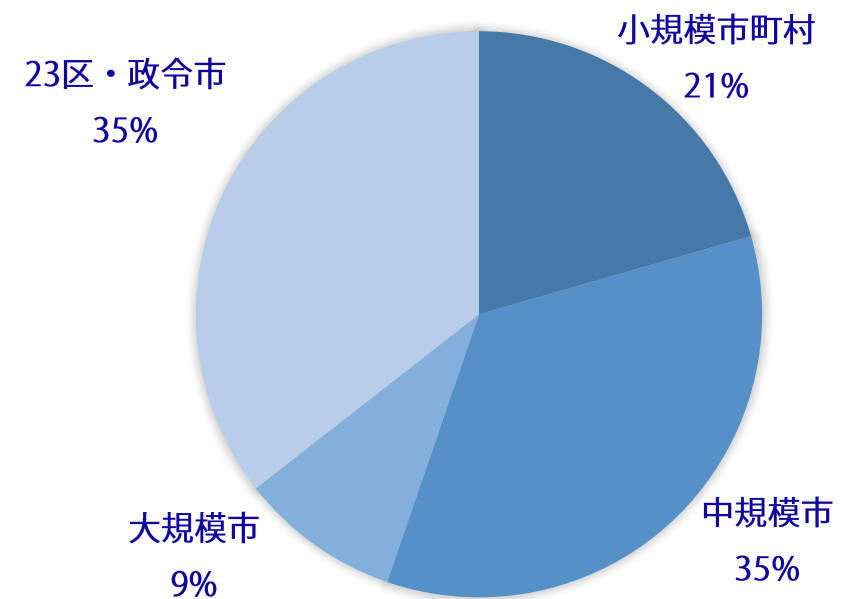
中核層の年齢別内訳を見ると、30-49歳が41%と最も多い。その比率は非中核層の構成比率とほぼ同様であり、年齢による差は見られない。

居住地の規模に差はない

中核層



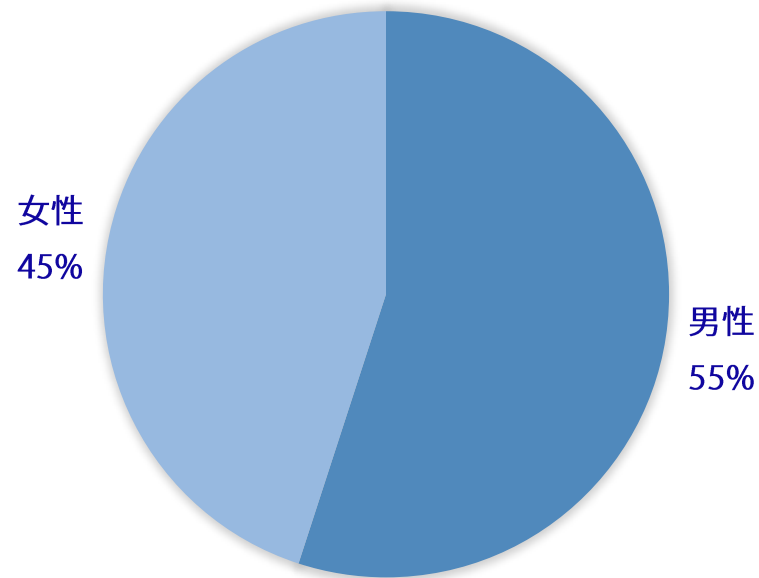
非中核層



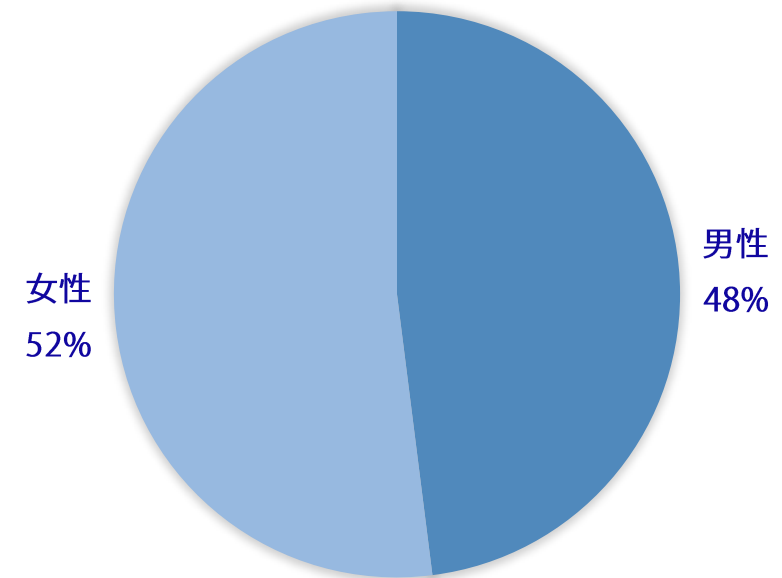
中核層の居住地別内訳を見ると、23区・政令市が39%と最も多く、次いで中規模市、小規模市、大規模市となる。その比率は非中核層の構成比率とほぼ同様であり、居住地の規模による差は見られない。

男性が若干多い

中核層

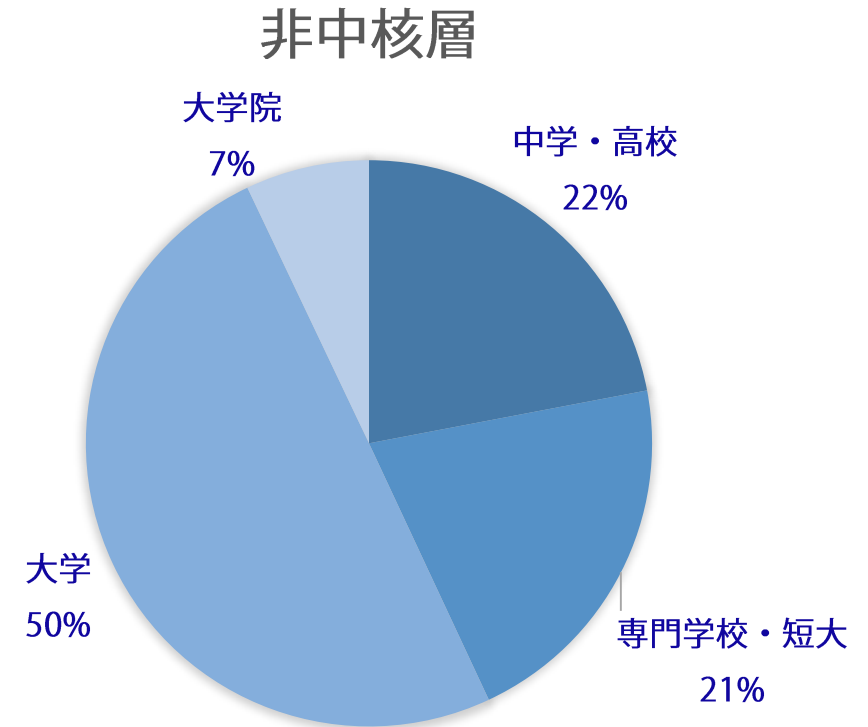
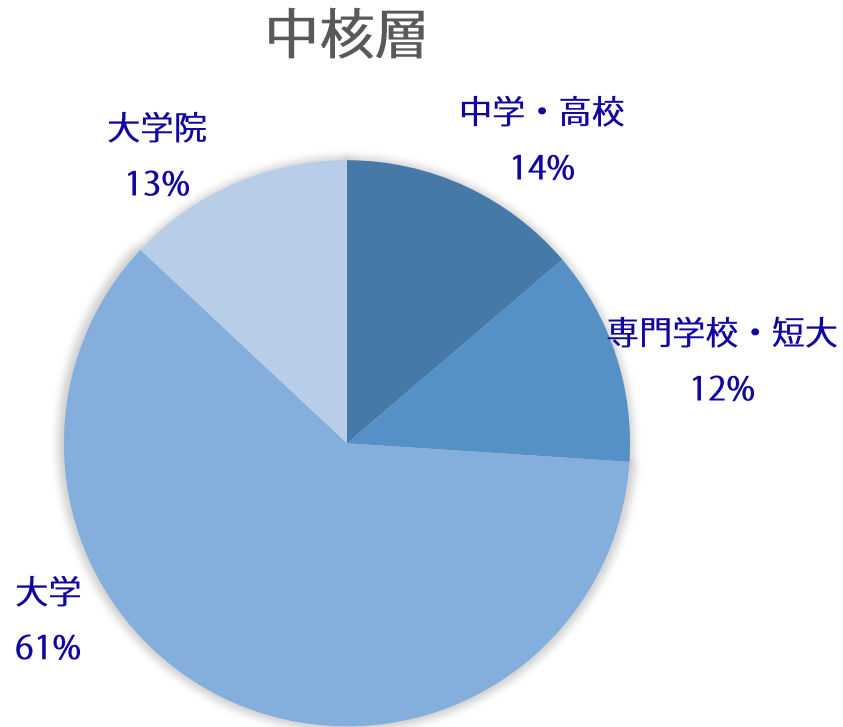


非中核層



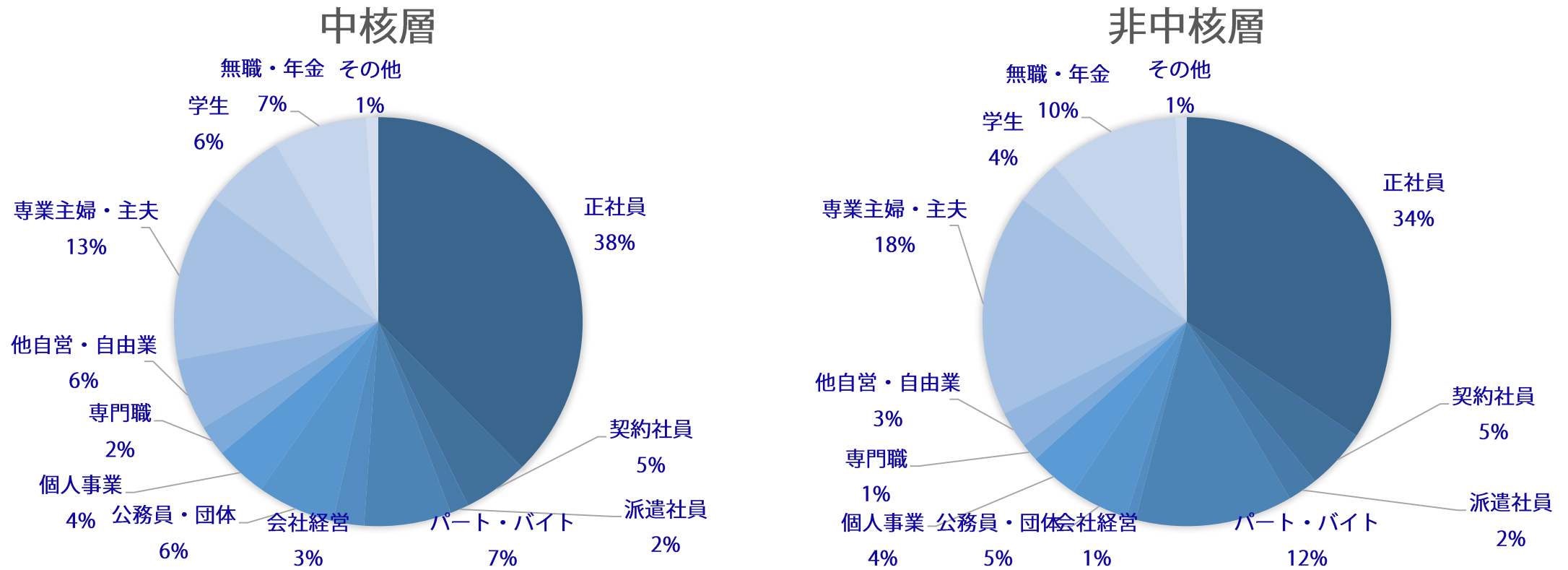
中核層の性別内訳を見ると、男性が55%、女性が45%と男性の方が多い。逆に非中核層は女性の方が52%と多くなる。

学歴は高め



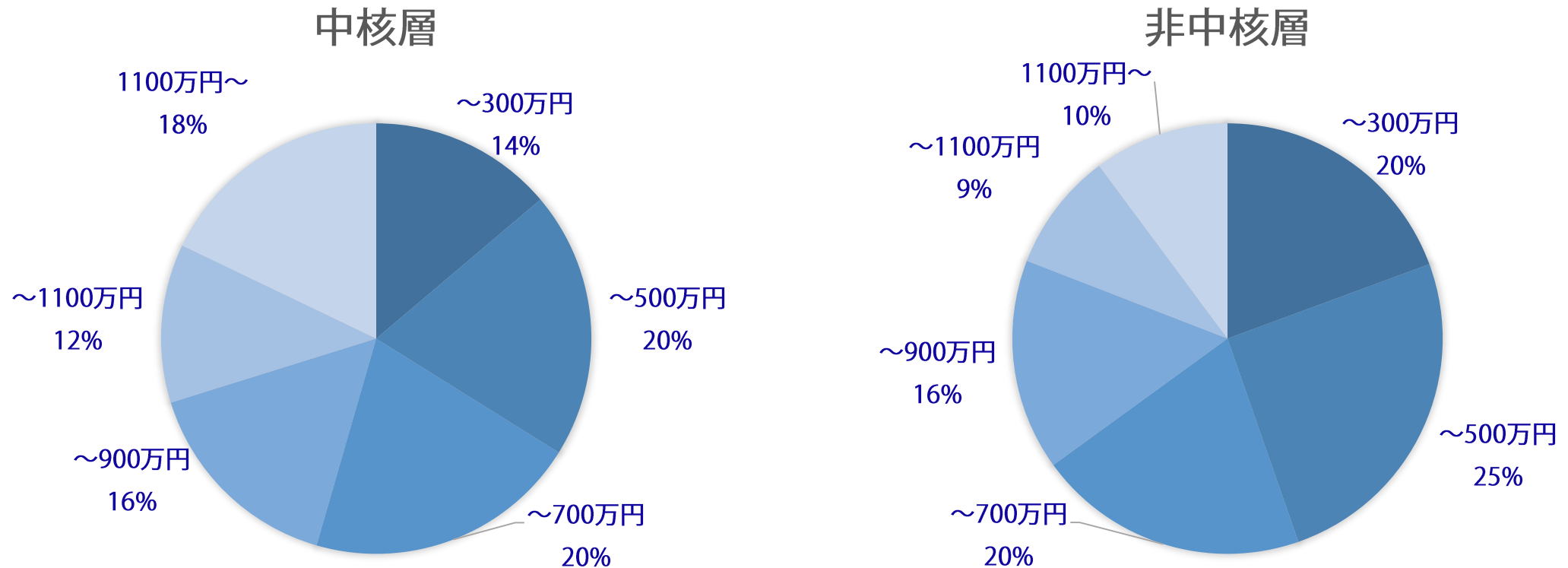
中核層の最終学歴別内訳を見ると、大学卒が61%と最も多く、次いで中学・高校卒、大学院卒、専門学校・短大卒となる。中核層は学歴が高めであるが、学歴に関係なく一定程度存在する。

正規労働者が若干多い



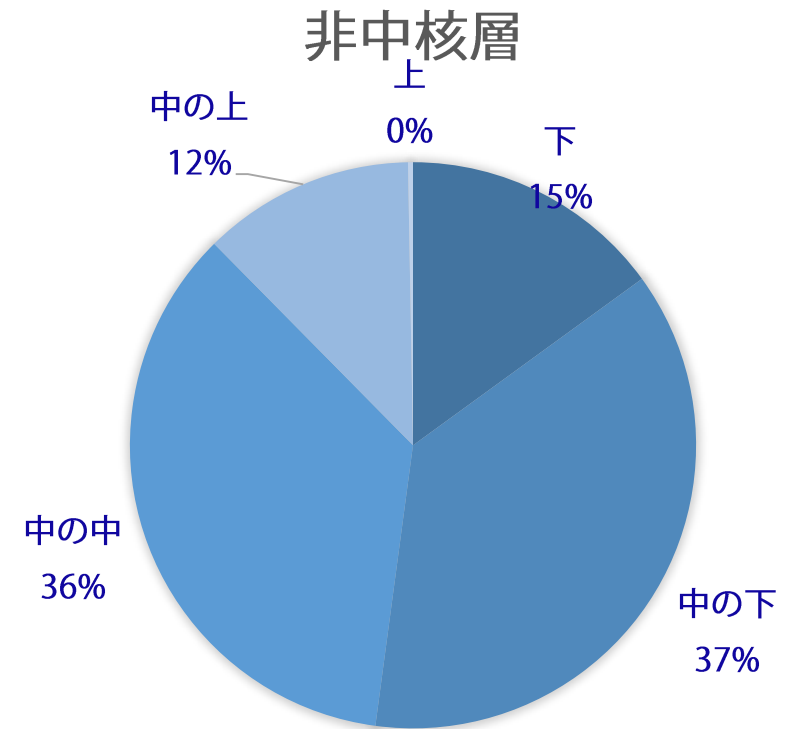
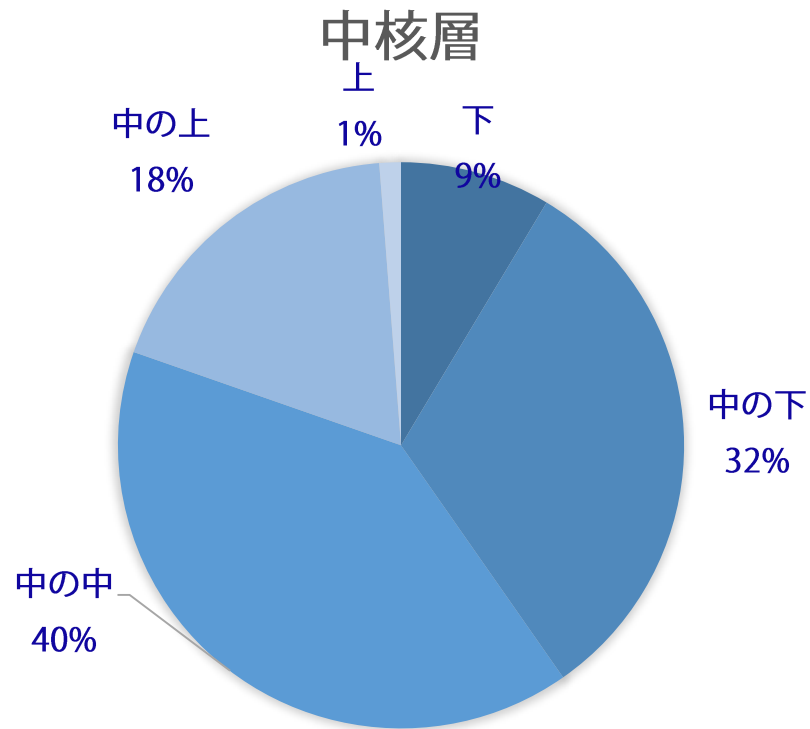
中核層の職種別内訳を見ると、正社員が38%で最も多い。非中核層も正社員が最も多いが、その比率は34%と中核層より若干低く、中核層には正規労働者が若干多いことがわかる。

世帯年収は高め



中核層の世帯年収別内訳を見ると、300～500万円と500～700万円が20%で最も多く、次いで1100万円以上が18%である。中核層は世帯年収が高めであるが、どの所得階級にも一定程度存在する。

階層は高め



中核層の階層意識別内訳を見ると、中の中が40%で最も多く、次いで中の下が32%である。非中核層は中の下が37%で最も多く、次いで中の中が36%である。よって、中核層は階層意識が高めであることがわかる。

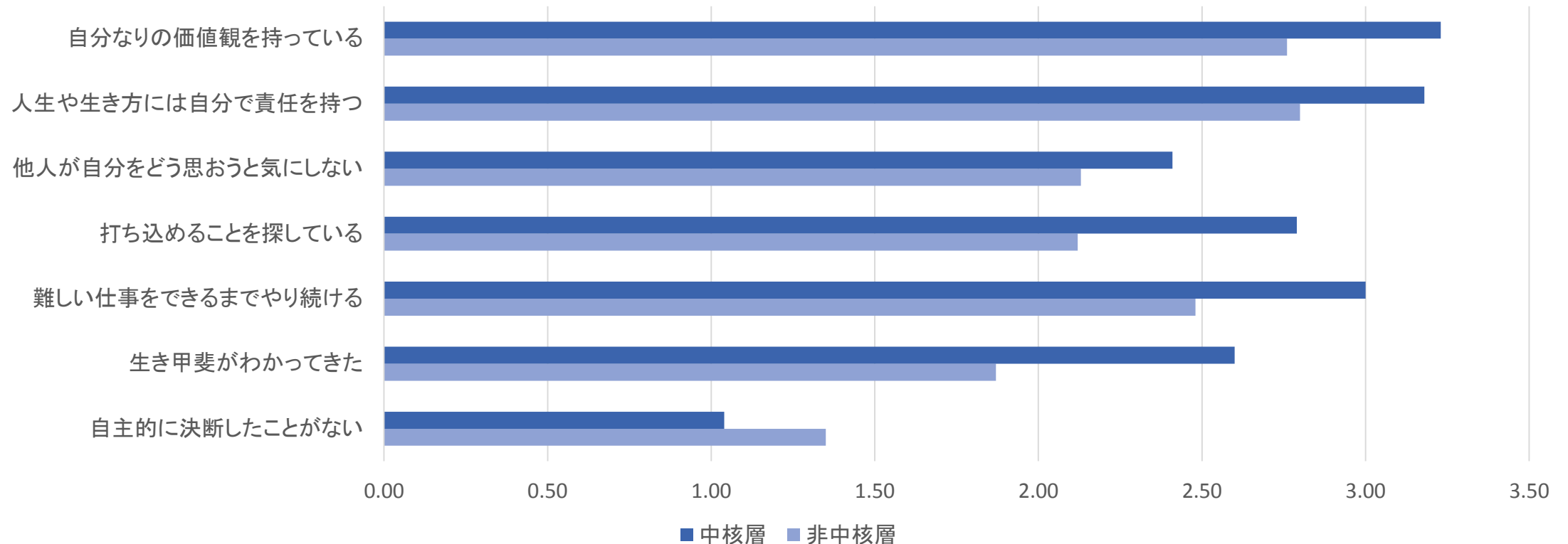
中核層の要件

- 中核層になるための社会・経済的な必要条件はない。誰でも中核層になりうる。
- 一定の経済的基盤があると、より中核層になりやすい。

中核層の社会意識

自立志向が強い

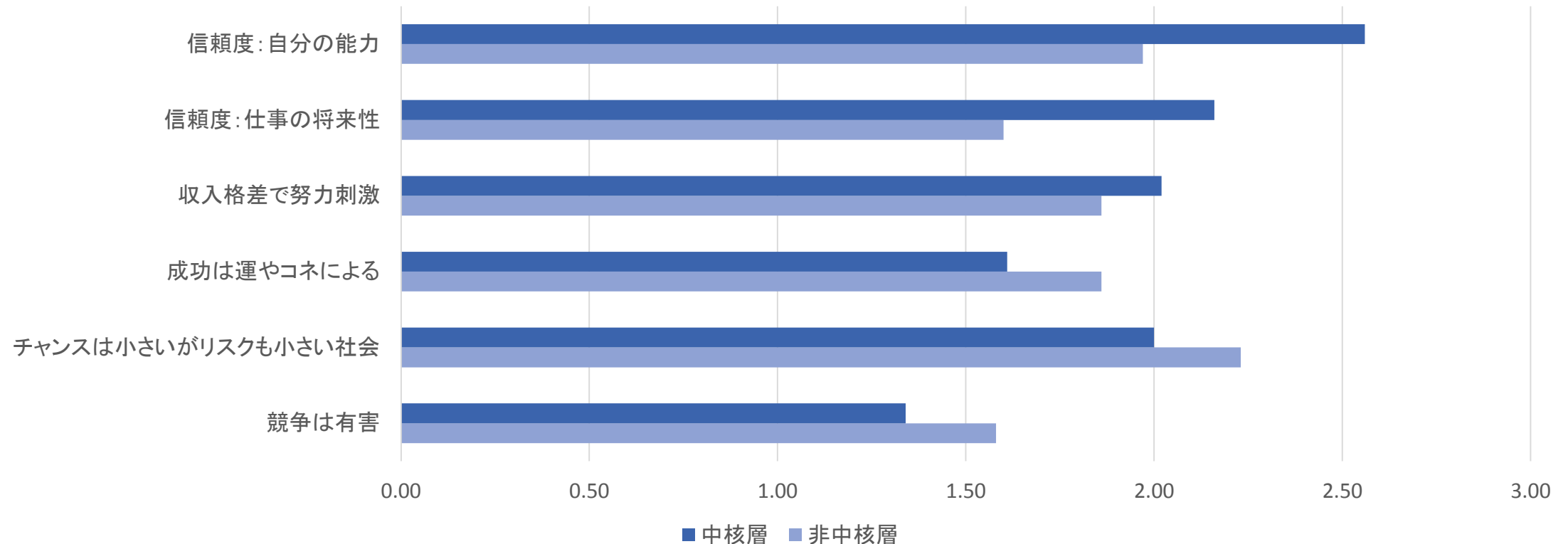
(0:全くあてはまらない～4:あてはまる, 平均値)



中核層は非中核層に比べ、打ち込めることを探していたり、生き甲斐がわかった人が多く、逆に非中核層は自主的に決断したことがない人が若干多い。

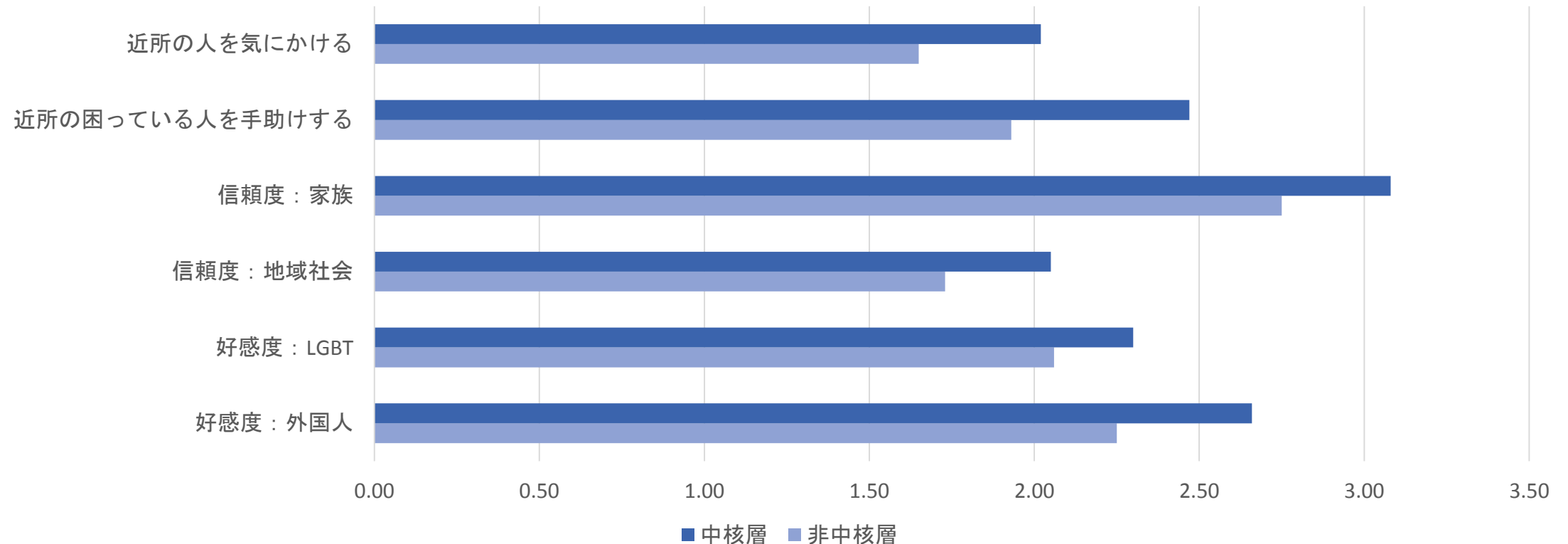
自立志向が強い

(0:全くあてはまらない～4:あてはまる, 平均値)



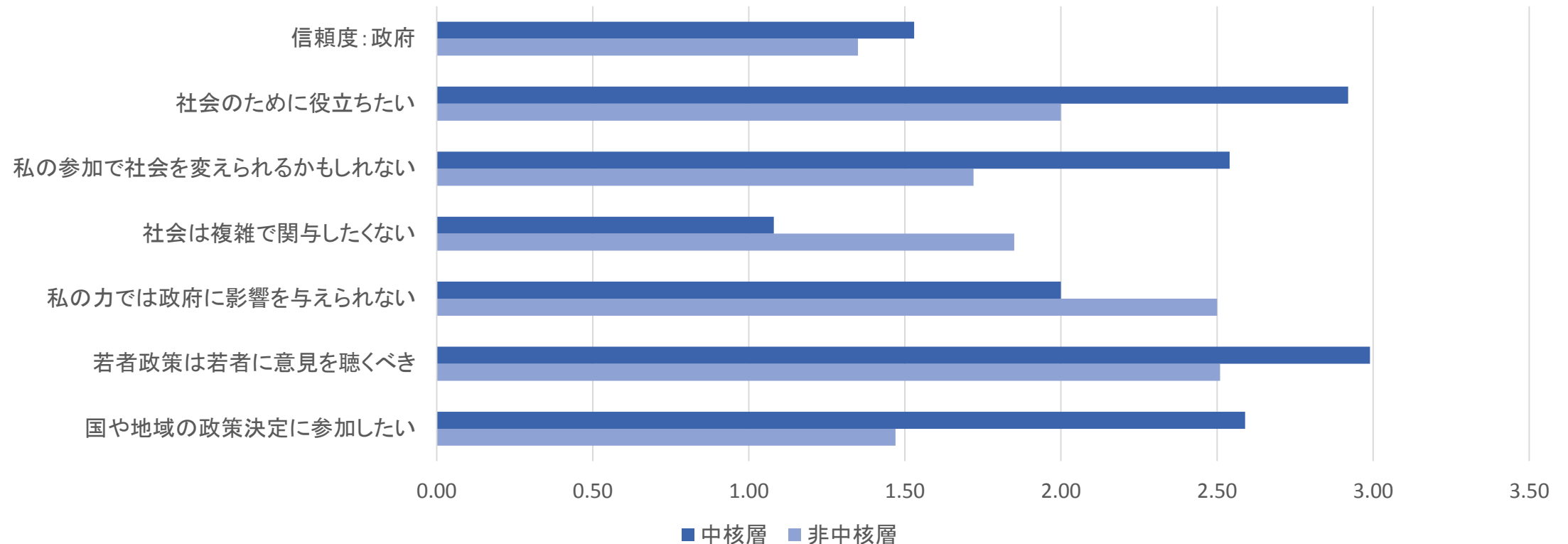
中核層は非中核層に比べ、自分の能力や仕事の将来性を信頼している人が多く、逆に非中核層は競争を嫌い、チャンスもリスクも小さい社会を好む傾向にある。

他者との関わり合いにも積極的 (平均値)



中核層は非中核層に比べ、近所づきあいを積極的にしている。また、他者への信頼度や社会的マイノリティーに対する好感度も高い。

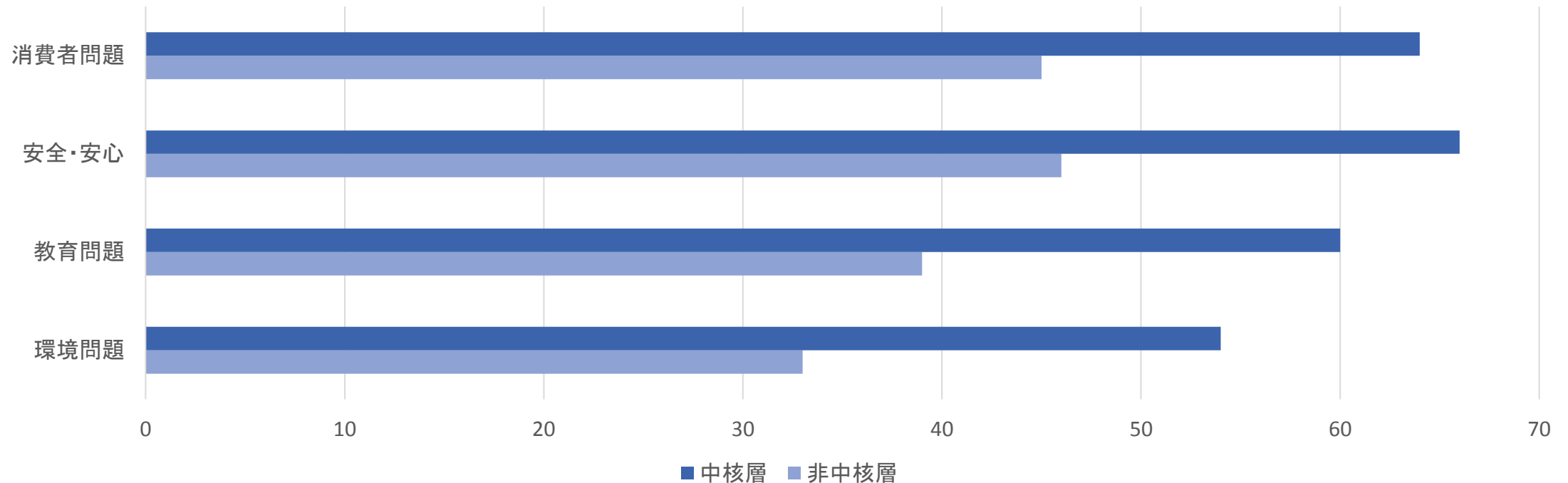
社会参画にも前向き (平均値)



中核層は非中核層に比べ、社会貢献や政策決定への参加意欲が強く、逆に非中核層は、政府に対し影響を与えられないと考え、関与したくない人が多い。

地域の問題への関心も高い

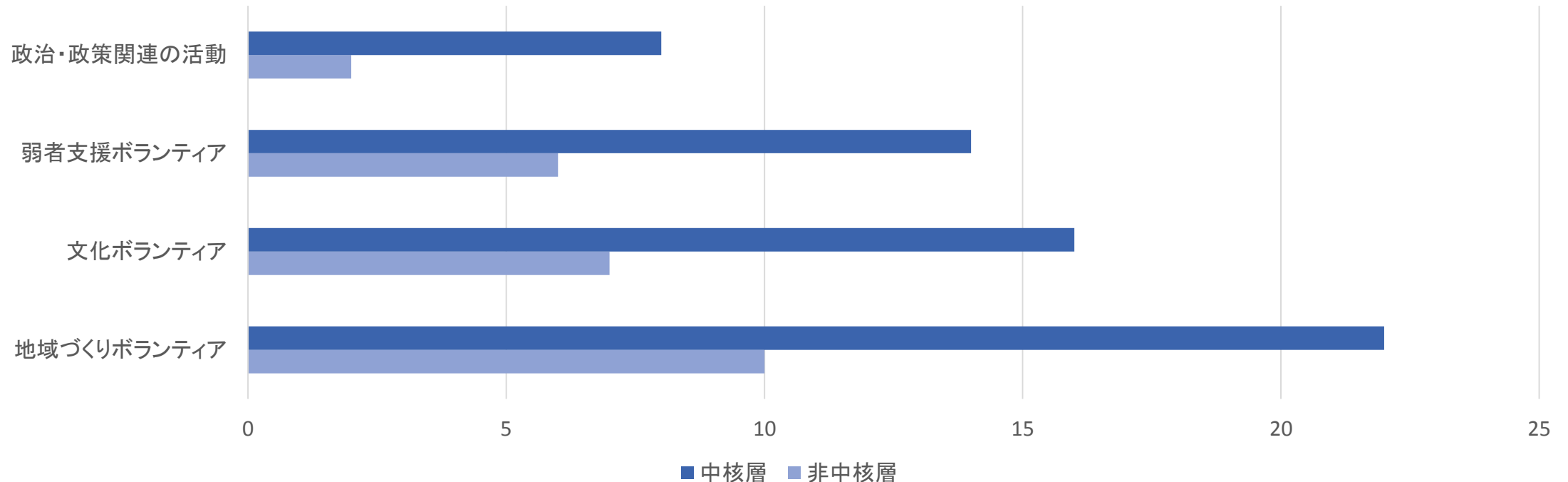
過去1年以内に3人以上で話し合ったことがある人(%)



中核層は非中核層に比べ、社会的な問題についてよく話し合っている傾向がある。

諸活動への参加度も相対的に高い

過去1年以内に参加したことがある人(%)



中核層は非中核層に比べ、政治・政策関連活動や様々なボランティア活動などへ積極的に参加していることがわかる。

中核層の社会意識

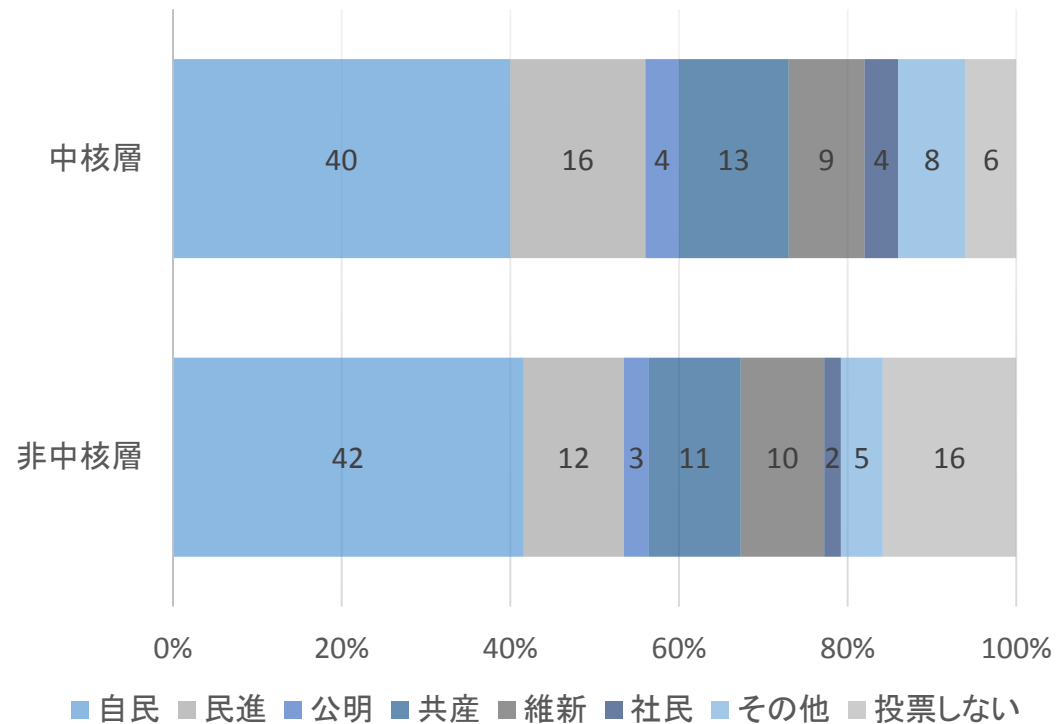
中核層の人々は、

- 自立志向が強い
- それでいて、他者との関わり合いにも積極的
- 社会参画にも前向き、関心や参加度が高い

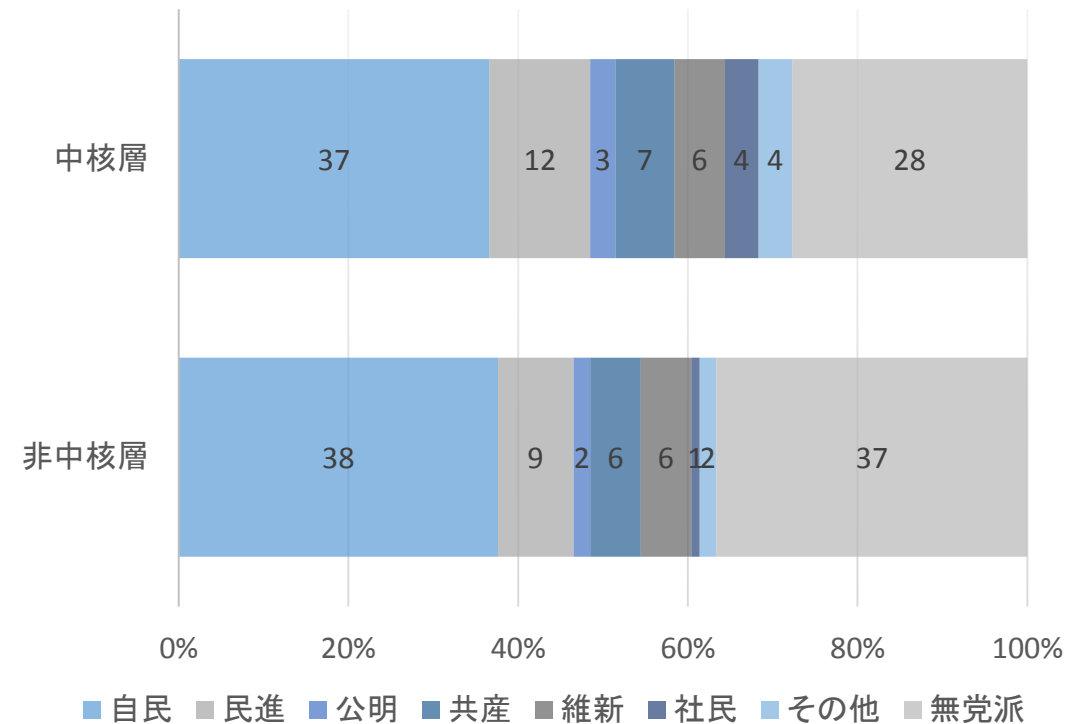
中核層の政治意識

無党派層・棄権が少ない

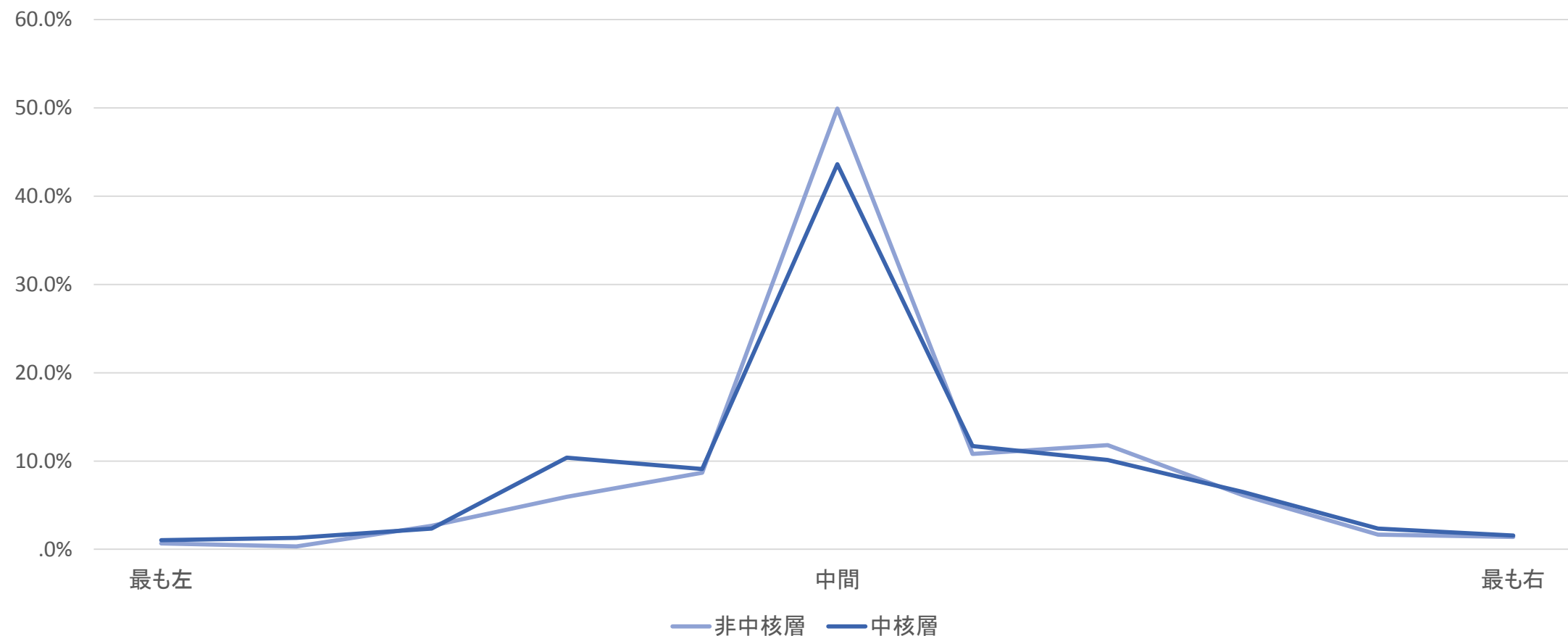
参院選投票予定政党



党派性



イデオロギーに有意差は見られない



中核層の政治意識

中核層の人々は,

- 無党派層・棄権が少ない。
- 非中核層よりも僅かに民進党寄り／投票者が多いが,
- 左右イデオロギー上の偏りは見られない。

中核層 3つのイメージ

イノベーター

現場にあって、そこで得られる知識や体験をもとにイノベーションを実現していく人びと

(出典) 宇野・谷口・牛尾「中核層の時代に向けて」『Voice』2014年6月号

ネットワークカー

イノベーションとイノベーションを結びつけ、またノードとノードをつないで有機的な連携をつくり出していく（人びと）

（出典）同前

コミュニティ・ノード

社会の結節点としてさまざまな局面で個人のケアを担う [...]

ネットワークを構成する1つ1つの要素, いわばネットワークの
結び目を指す。

(出典) 同前

イノベーターの要件

1. 「仕事や生活でしばしば良いアイデアを思いつく」
2. 「私の社会参加により、変えてほしい社会現象が少し変えられるかもしれない」

両方に「（よく）あてはまる」と答えた人が
イノベーター

ネットワークerの要件

1. 「人の集まりで幹事役をつとめることが多い」
2. 「もし、お住まいの地域に関する重要な情報について、市区役所・町村役場から『この地域に住むなるべく多くのお知り合いに、この情報を伝えてください』といわれたら、あなたは何人にこの情報を伝えますか。インターネット、電話、面会、手紙など、情報を伝える手段は何でも構いません。」

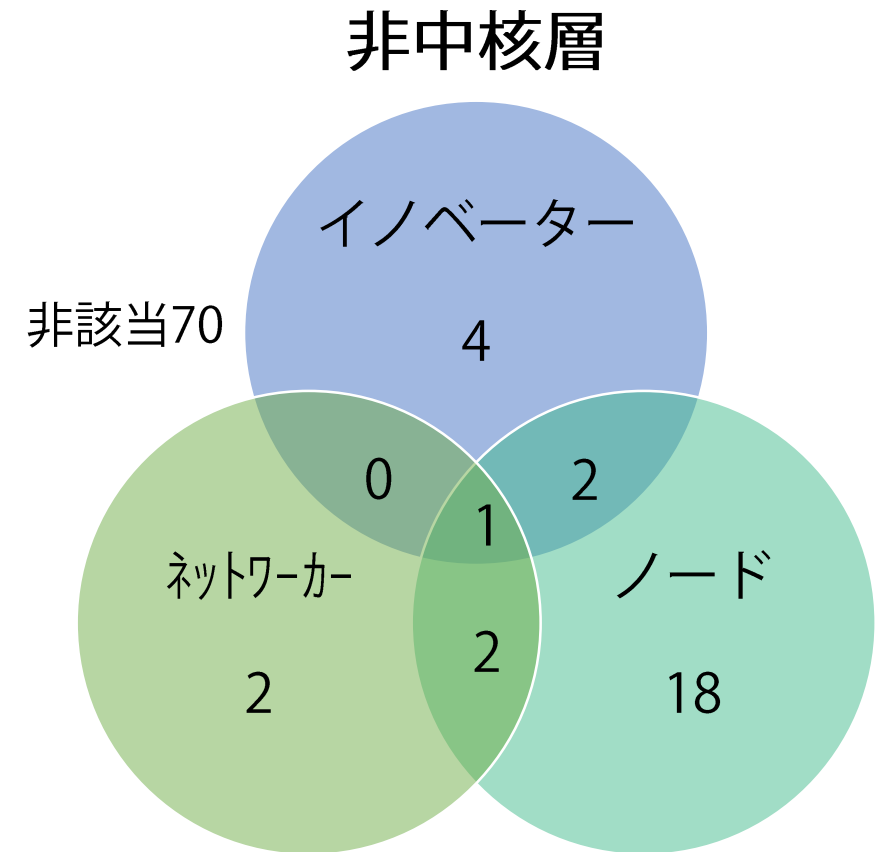
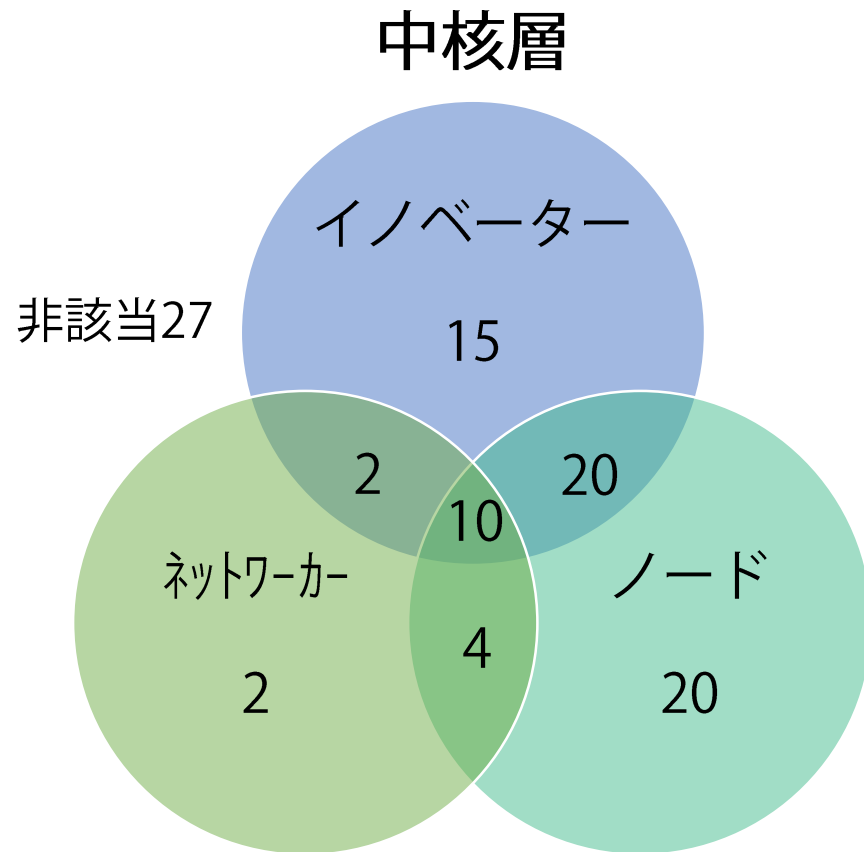
1に「（よく）あてはまる」， 2に「11人以上」と答えた人が
ネットワークer

コミュニティ・ノードの要件

1. 「近所の人困っていたら、積極的に手助けをする」
2. 「困っている人を見ると、何とかしてあげたいと思う」

両方に「（よく）あてはまる」と答えた人が
コミュニティ・ノード

中核層の36%が複数のイメージを兼ねる



単位%

中核層 3つのイメージ

- イノベーター, ネットワーカー, コミュニティ・ノードは相互排他的ではなく, 2以上のイメージを兼ね備える場合も多い。
- 操作化(調査上の定義)方法にもよるが, 一番多いのはコミュニティ・ノード, 少ないのはネットワーカー。

信頼社会の構築に向けた課題

- 自らの生き方においては主体的なものの、社会を支えようという意識を持たない全体の2～4割の「**中核層予備軍**」
- 中核層でありながら、3つのイメージいずれにも該当しない3割の「**不活性中核層**」
- 信頼社会の構築に向けてボトルネックになるかもしれない「**ネットワーク不足**」の克服

研究体制

牛尾 治朗 NIRA総研会長／ウシオ電機(株)代表取締役会長

谷口 将紀 NIRA総研理事／ 東京大学大学院法学政治学研究科教授

宇野 重規 NIRA総研理事／東京大学社会科学研究所教授

神田 玲子 NIRA総研理事・研究調査部長

川本 茉莉 NIRA総研 研究コーディネーター・研究員